

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

ヒメトビウンカのイネ縞葉枯ウイルス保毒状況（技術情報第4号）について

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、防除指導等にご活用下さい。

記

【保毒虫調査】

県内19地点より採集したヒメトビウンカ及び農業研究センター（合志市）に設置しているネットトラップに捕獲されたヒメトビウンカについて、高比重ラテックス凝集反応法によりイネ縞葉枯ウイルスの保毒状況を調査した（表1）。

本年は、過去同様に行った調査と比較して保毒虫率は高く（表2、3）、今後イネ縞葉枯病の発生に注意が必要である。

イネ縞葉枯病

ヒメトビウンカによって媒介されるウイルス（Rice stripe virus：RSV）によって引き起こされるウイルス病。生育初期に感染すると新葉がこより状に巻いて下垂する特有の症状（ゆうれい症状）を示し、激しい場合は枯死する。後期感染では穂の出すくみや奇形穂、不稔を起こす。

RSVは幼虫、成虫とも保毒・媒介が可能であり、また高率に経卵伝染する。

表1 平成19年度 ヒメトビウンカ保毒虫率調査

場 所	植 生	採集日	検定数	保毒数	保毒率	
熊本市画図町	コムギ	5/24	96	5	5.2%	
宇土市善導寺町	コムギ	5/24	96	9	9.4%	
城南町碓	コムギ	5/24	96	7	7.3%	
富合町新	コムギ	5/24	96	2	2.1%	
玉名市北牟田	コムギ	5/23	96	5	5.2%	
玉名市岱明町鍋	コムギ	5/23	96	5	5.2%	
山鹿市南島	コムギ	5/23	96	1	1.0%	
菊池市赤星	コムギ	5/23	96	5	5.2%	
菊池市七城町砂田	コムギ	5/23	96	2	2.1%	
大津町灰塚	コムギ	5/23	96	6	6.3%	
阿蘇市赤水	イタリアン	6/5	96	9	9.4%	
御船町小坂	コムギ	5/23	96	2	2.1%	
嘉島町上仲間	コムギ	5/24	96	3	3.1%	
甲佐町糸田	コムギ	5/23	96	7	7.3%	
山都町南田	スズメテッポウ	5/8	26	1	3.8%	
氷川町若洲	コムギ	5/24	96	8	8.3%	
錦町西	イタリアン・スズメテッポウ	5/21	51	0	0.0%	
上天草市松島町今泉	水稻	6/4	58	2	3.4%	
農研センター	コムギ	5/24	96	12	12.5%	
<b>すくい取り調査 計</b>			1,671	91	<b>5.4%</b>	
ネットトラップ誘殺			5/15	2	1	50.0%
			5/18~20	5	0	0.0%
			5/21	1	0	0.0%
			5/22	1	0	0.0%
			5/24~27	3	0	0.0%
			5/28	5	0	0.0%
			5/29	6	1	16.7%
			5/30~31	73	2	2.7%
			6/1~3	13	1	7.7%
			6/4	7	2	28.6%
			6/6	5	0	0.0%
			6/7	2	0	0.0%
			6/12	24	2	8.3%
6/13	2	0	0.0%			
<b>ネットトラップ 計</b>			149	9	<b>6.0%</b>	

表2 ヒメトビウンカ保毒虫率（すくい取り）の推移

調 査 年	H19	H18	H16	H15	H13	H12	平 年 (H12, 13, 15, 16, 18)
保毒虫率(%)	<b>5.4</b>	5.9	8.3	1.6	0.4	1.1	<b>3.5</b>

注) H17, H14は調査していない

表3 ヒメトビウンカ保毒虫率（ネットトラップ）の推移

調 査 年	H19	H18	H17	3カ年平均
保毒虫率(%)	<b>6.0</b>	1.0	2.9	<b>3.3</b>